

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成 29 年 4 月 27 日 (2017.4.27)

【公開番号】特開 2015-86641 (P2015-86641A)
 【公開日】平成 27 年 5 月 7 日 (2015.5.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-030
 【出願番号】特願 2013-228256 (P2013-228256)
 【国際特許分類】

E 0 4 B 2/74 (2006.01)

【F I】

E 0 4 B 2/74 5 4 1 P

E 0 4 B 2/74 5 0 1 R

E 0 4 B 2/74 5 6 1 H

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 21 日 (2017.3.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パネル状の基材と、
 前記基材の外周端部の少なくとも一部に沿って連続し、該基材の内方に向けて凹んだ溝と、
 前記基材の少なくとも一面に設けられた軟性材と、
 前記基材および前記軟性材を覆い、外周端部が前記基材の外周縁部で前記溝の内側に巻き込まれた表皮材と、
前記表皮材を前記溝の内周面との間に挟み込んで固定する固定手段と、
 を備えることを特徴とするパネル体。

【請求項 2】

前記軟性材の外周端部が、前記表皮材とともに、前記基材の外周縁部で前記溝の内側に巻き込まれていることを特徴とする請求項 1 に記載のパネル体。

【請求項 3】

前記軟性材は、前記基材の表面に凹凸形状を形成し、
 前記表皮材は、前記基材および前記軟性材を覆うことで、前記凹凸形状に沿って凹凸部を形成することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のパネル体。

【請求項 4】

前記軟性材は、弾性を有し、前記基材の表面に角部を有する前記凹凸形状を形成し、
 前記表皮材は、前記角部を圧縮方向に弾性変形させて前記軟性材および前記基材を覆うことを特徴とする請求項 3 に記載のパネル体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、上記課題を解決するため、以下の手段を採用する。

すなわち、本発明のパネル体は、パネル状の基材と、前記基材の外周端部の少なくとも一部に沿って連続し、該基材の内方に向けて凹んだ溝と、前記基材の少なくとも一面に設けられた軟性材 と、前記基材および前記軟性材を覆い、外周端部が前記基材の外周縁部で前記溝の内側に巻き込まれた表皮材と、前記表皮材を前記溝の内周面との間に挟み込んで固定する固定手段と、を備えることを特徴とする。

これにより、基材および軟性材を覆う表皮材が、パネル体の外周部において、基材の外周縁部を回り込んで溝の内側に巻き込まれているため、パネル体の外周部は、基材が露出することなく、表皮材で覆われることになる。さらに、表皮材は、溝内で固定手段により固定されるため、固定手段がパネル体の外周部に露出するのを抑えることができる。

【手続補正 3】

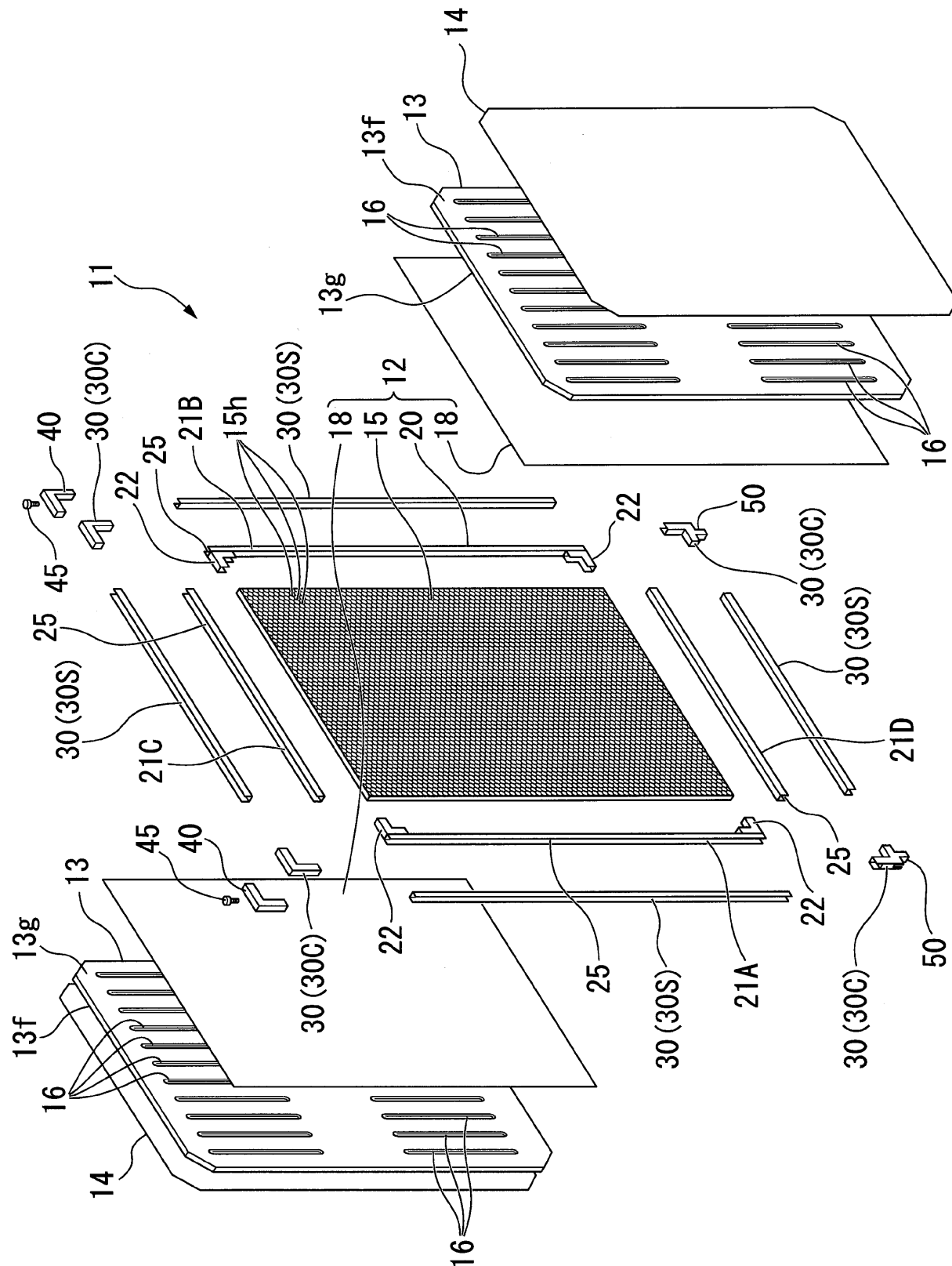
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】



【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

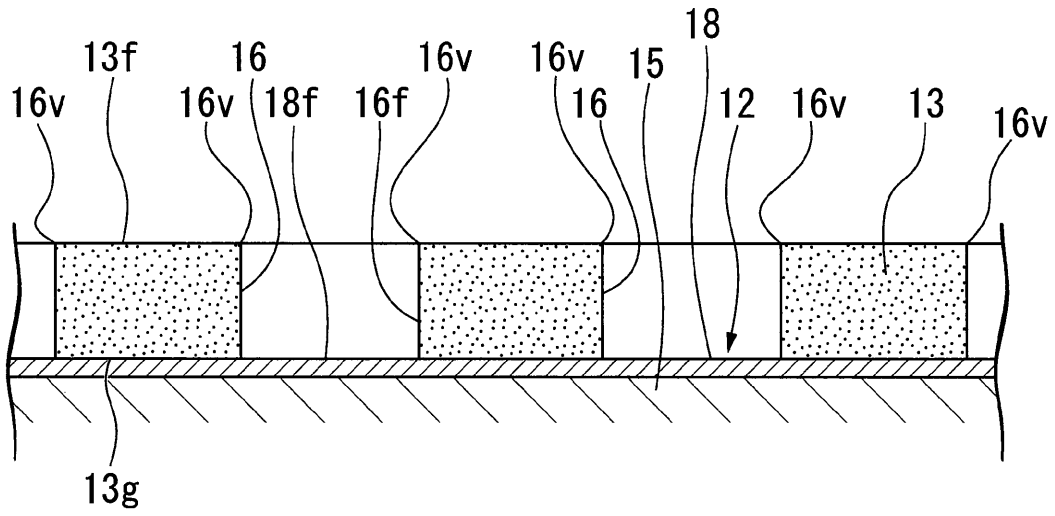
【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7】

(a)



(b)

